

事務事業名 農業集落排水施設整備事業		所属部 上下水道部	所属課 下水道課
総合計画体系	政策名 (Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G 整備維持グループ	課長名 須田 弘
	施策名 (11)下水道の整備	担当者名 山本大策	電話番号 0854-42-3471 (内線) 4610
	目的:対 象 市民 意図 衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 2 5 1 5 1 - - 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 0 - - -	雲南市地区施設整備事業 三刀屋町地区施設整備事業 掛合町地区施設整備事業
	基本事業名 (031)下水道経営の安定化 目的:対 象 下水道事業経営 意図 健全に運営する。		雲南市地区施設整備事業 三刀屋町地区施設整備事業 掛合町地区施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 25 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
供用開始から5年以上経過した施設について、機能を発揮しているかどうかを診断する。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) 三刀屋町2地区、掛合町4地区の機能診断業務及び最適整備構想業務を行った。	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 事業なし		
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)
	ア 機能診断調査地区	地区	5	7	6
	イ 最適整備構想	件	0	0	1
	ウ				
	エ				

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	共用開始から5年以上を経過した集落排水処理施設(18施設)	ア 5年を経過した施設	地区	18	18	18	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
機能診断及び最適整備構想を策定する。	ア 機能診断調査地区	地区	5	7	6		
	イ 最適整備構想	件	0	0	1		
	ウ						
	エ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)		② コストの推移		単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
機能診断業務委託		事業費	国庫支出金	千円	10,200	13,800	16,460	
委託料(三刀屋町)	3,668千円		県支出金	千円				
委託料(掛合町)	7,814千円		地方債	千円				
最適整備構想			その他	千円	6	9	30	
委託料(雲南市全体)	5,008千円		一般財源	千円				
計	16,490千円		事業費計(A)	千円	10,206	13,809	16,490	
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	130	130	200	
			人件費計(B)	千円	512	509	779	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	10,718	14,318	17,269	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農業集落排水施設については22箇所あり、供用開始からかなり年数がたったものもあり、老朽化が顕著である。	供用開始から5年以上経過した施設について、機能を発揮しているかどうかを診断する。	施設の維持管理業者から、効率の落ちた機械設備ほかについて早急な修繕又は施設改善の要望が寄せられている。

事務事業名	農業集落排水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	--------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		理由
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		理由
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			理由
B 有効性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		理由
	⑩ 評価の総括			理由
C 効率性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の持ち出し無くして施設の調査ができるため、財政的にも負担はない。	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
③ 評価の総括		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																				
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																			
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持			×																		
低下		×	×																		
<p>本事業はH25年度で完了した。本事業により、老朽施設及び機器の機能診断や最適整備構想が策定されたので、今後は機能強化対策事業の採択化を図り、適正な維持管理並びにLCCの最小化に努めていかなければならない。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				